

**研究者：**村田亜志美留，金武正二郎，千生倫，鈴木志帆美，  
齋藤 孝平（所属：神奈川歯科大学 国際医療ボランティア研究会）  
山口 紘章（所属：神奈川歯科大学 バイオマテリアル講座 助教）  
平田 幸夫（所属：神奈川歯科大学 学長）

**研究題目：**タイ王国チェンライ県における歯学部生の国際保健活動

**目的：**

現在，世界各地には貧困・医療不足といった理由で基本的な医療供給が困難な国が存在しているのが現状である。我々は，途上国における実際の歯科医療の現状および現地のニーズを把握する必要があると考え，国際保健医療における歯科保健のあり方を模索することを目的とした。

加えて，学生自身が企画することにより自分自身で物事を考える自己解決能力と，世界的な視野で物事を見る力を養うことを目的とした。

**対象および方法：**

**【日程】**

・平成 28 年 2 月 24 日（水）～3 月 2 日（水）

**【場所】**

・タイ王国（バンコク，チェンライ県）

**【活動】**

- ・保健活動
  1. ドイチャン小学校
  2. パンアオイ小学校
  3. メイスアイ郡周辺の集会所
- ・日タイ歯科学生交流会

**【参加者】**

- ・神奈川歯科大学 国際医療ボランティア研究会部員 5 名
- ・マヒドン大学 歯学部 6 年生 5 名

**結果および考察：**

活動は，2 月 24 日から 3 月 2 日の 8 日間で行われた。本活動は，村田亜志美留，金武正二郎，千生倫，鈴木志帆美，齋藤孝平の計 5 名が参加した。2 月 24 日から 28 日をタイ北部にあるチェンライ県での保健活動，3 月 2 日までをマヒドン大学での保健活動の発表と学生交流にあてた。

チェンライ県での保健活動は，マヒドン大学歯学部 6 年生とともに 2 つの小学校（ドイチャン小学校とパンアオイ小学校）で保健活動，メイスアイ郡の集会所での高齢者へ保健活動を行った。

ドイチャン小学校は山岳民族であるアカ族の村にある大きな小学校で，この小学校はマヒドン大学の 6 年生が 1 か月間口腔保健活動をしている小学校の 1 つであった。我々が訪れたときは，

OHI-S 検査を行っていた。OHI-S は前日までブラッシング指導や食育などを行ったようで、それが学んでいるかの中間チェックであった。私たちが手伝った子供たちのスコアは1 をこえる OHI-S のスコアが多く、1 歯以上の齲蝕がみられた。



机で検査



議論するマヒドン学生



結果を聞く小学生

パンアオイ小学校での保健活動は、マヒドン大学の学生も初めて訪れた小学校だったので、一緒に口腔保健指導を行った。歯磨きの仕方と虫歯になりやすい食べ物の指導を行い、そのあとにアイスブレイキングとして口腔と齲蝕に関するクイズを行った。最後に今回の活動最終確認として、小学生の口腔内を染め出して自分の口腔内が磨けていないことを確認してもらった。

ほとんどの子供に赤く染まり磨けていない部位があったので、鏡でその赤い部位を見てもらいながら、磨き方のコツを指導した。染め出しが新鮮なためか、熱心に我々の指導に耳を傾けてくれた。この小学校では英語も教えているので、しっかりと伝えたい部分は英語からタイ語に訳してもらいながら進めたが、クイズや歯を実際に磨いてもらったときは英語で行った。



熱心に聞く小学生



ブラッシング指導



良く磨けました！

集会所で、現地の看護師と歯科医師と共に高齢者に対しての保健指導をした。私たちは口腔周辺の筋と嚥下をスムーズにするための訓練としてパタカラ体操のレクチャーを行った。

パタカラ体操は、説明を英語作成し、マヒドン大学の学生と現地の歯科医師にタイ語へ修正してもらったものをフリップにしたものを使って活動した。嚥下をスムーズになること、口腔内周囲の筋肉が鍛えられること、美容などの効果説明を我々が英語で喋り、それを歯科医師にタイ語で説明してもらった。反応が一番あったのが美容効果であった。パタカラ体操を1年間行った方の Before・After の写真を説明内にいれたせいかもしれない。そのせいか、参加してくれた方が熱心に聞いてくれ、『パ、タ、カ、ラ』の発音を我々と共に行ってくれた。

現地の看護師は、薬の飲み方の説明と指先のリハビリを行っていた。タイの地方部では、計量

カップや量の同じスプーン，コップがないため，コップやスプーン一杯が違う量であることを説明し，タイにはどの家庭にもある使い慣れたレンゲが同じ量であるため，レンゲを使って薬を測る方法を説明していた。

指先のリハビリとして，A4の紙を指で切っていく，一番長く切った人にフルーツをプレゼントするというをやった。どの方も集中して切っていて，各自の切り方が違うので興味深かった。



パタカラ体操の説明



薬の量の説明



リハビリで紙を切るお婆さん

マヒドン大学での学生交流は，マヒドン大学歯学部2年生から5年生までの10名が参加した。我々はチェンライ県での保健活動についてと日本の学生生活を発表した。保健活動については，一つ一つの写真に良い反応を示してくれた。パタカラ体操のフリップも載せたが，美容効果が好評で自分の祖母にやるように言おうと言ってくれる学生もいた。学生生活の発表では，アルバイトはどのようなことをするのか，部活はどんなものがあるのかなどの質問を受けた。マヒドン大学歯学部2年生はマヒドン大学の1年間の生活についての発表してくれた。文化発表として我々は書道を，マヒドン大学の学生はキムというタイの伝統楽器で演奏をした。終了後に，みんなで夕食を食べながら，チェンライでの活動や今回の発表のディスカッションを行った。



日本学生の発表



キムのレクチャーを受ける部員



書道に集中するタイ学生

現地の歯科学生との事前の意思疎通がうまくいっていない部分など反省点はあったので，来年度は事前に学生と打ち合わせを行うなどの改善する点が見つかった。しかし，今回の活動で大きかったことは，2009年に活動を一緒にした学生が現地の歯科医師になり，この活動を手伝ってくれるカウンターパートになったことである。我々の活動を理解する現地の歯科医師がカウンターパートになってくれたことにより，今回の活動で問題を発見した際に簡単に議論ができるようになり，問題解決能力を養うきっかけになった。

**成果発表：**

- ・ 神奈川歯科大学国際医療ボランティア研究会事業報告書掲載・発行
- ・ 神奈川歯科大学広報 原稿投稿
- ・ 歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）総会 発表
- ・ 神奈川歯科大学学会 発表
- ・ 神奈川歯科大学学園祭 発表